

ケータイ活用教育研究会 ICT活用授業レポート

2017年度4月～9月期

| | |
|---|---|
| 大学名 | 中央大学 |
| 学部、学科、コース等 | (無回答) |
| 教員名 | 芳賀 寛 |
| 科目名、授業名 | 入門統計演習、演習 |
| 実施日時(曜日、時限等) | 火曜日1・2・3・4・5時限 |
| 学年、対象クラス | 1年次以上、2・3・4年次 |
| 場所 | PC利用教室、演習教室 |
| 受講人数 | 全体で約50名 |
| 公開シラバスURL | (無回答) |
| 授業のねらい、目的 | (入門統計演習)統計情報等に基づく簡易なレポートの作成、発表、質疑 (演習)PCスキルの発展的修得、統計情報等に基づく論文の作成、学内外での発表 |
| ICT活用により期待できる効果、ICT活用のねらい | 受講者の学習履歴の把握、教材配付、受講者のプレゼンテーション、授業時間外の自習・復習、レポートの提出、授業評価アンケート、成績評価、各種関連情報の提供、担当教員および学生相互のコミュニケーション |
| 利用機能 | 出席 アンケート協働板 教材倉庫 連絡・相談 レポート ニュース |
| その他ICT利用機能 | (無回答) |
| 授業の展開・デザイン (全体の流れとICT運用の流れ、消費時間数、道具) | 授業前、授業時、授業後における受講学生の学習経過、成果等をLMSで確認する。 消費時間、利用ツール等は受講者により異なる。 |
| 学習成果、考察、所感 | 定期的に学習経過を点検し、成果を蓄積する習慣をつける。当事者意識を持って授業に参加する。受講者と教員が相互に学習経過をチェックしながら授業を進める。 |
| ICT活用の更なる発展への提言 | 学生と教員とを多面的な関係の中に置きながら知の共有、創造を図る。 |